

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 11日は、高気圧が日本の東へ移動する。前線が日本の東から沖縄付近にのび、前線上を低気圧が進む。
- 12日は、前線上の低気圧は日本の東へ進み、高気圧が東シナ海に移動する。
- 13日は、日本の東の高気圧が日本付近に張り出す。
- 14日から15日は、前線が日本の南から沖縄付近にのび、前線上を低気圧が東北東に進む。

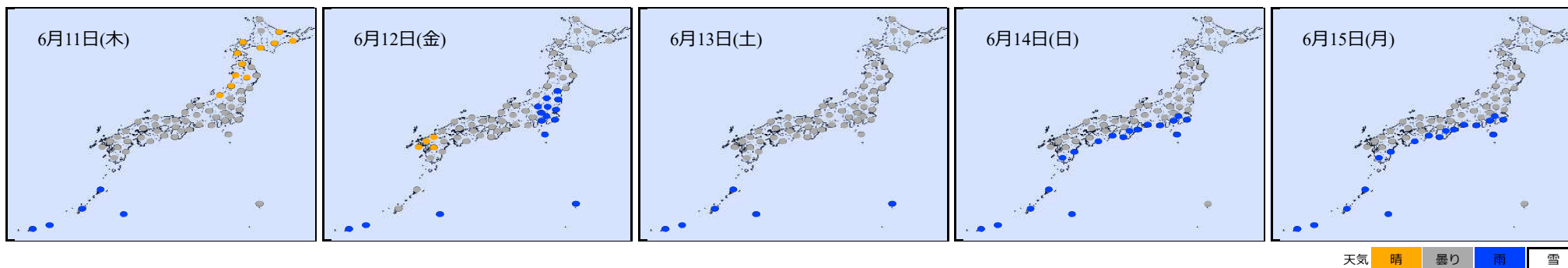
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 11日にかけて、沖縄・奄美では前線の影響で大雨となり、前線の活動の程度等によっては警報級の大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

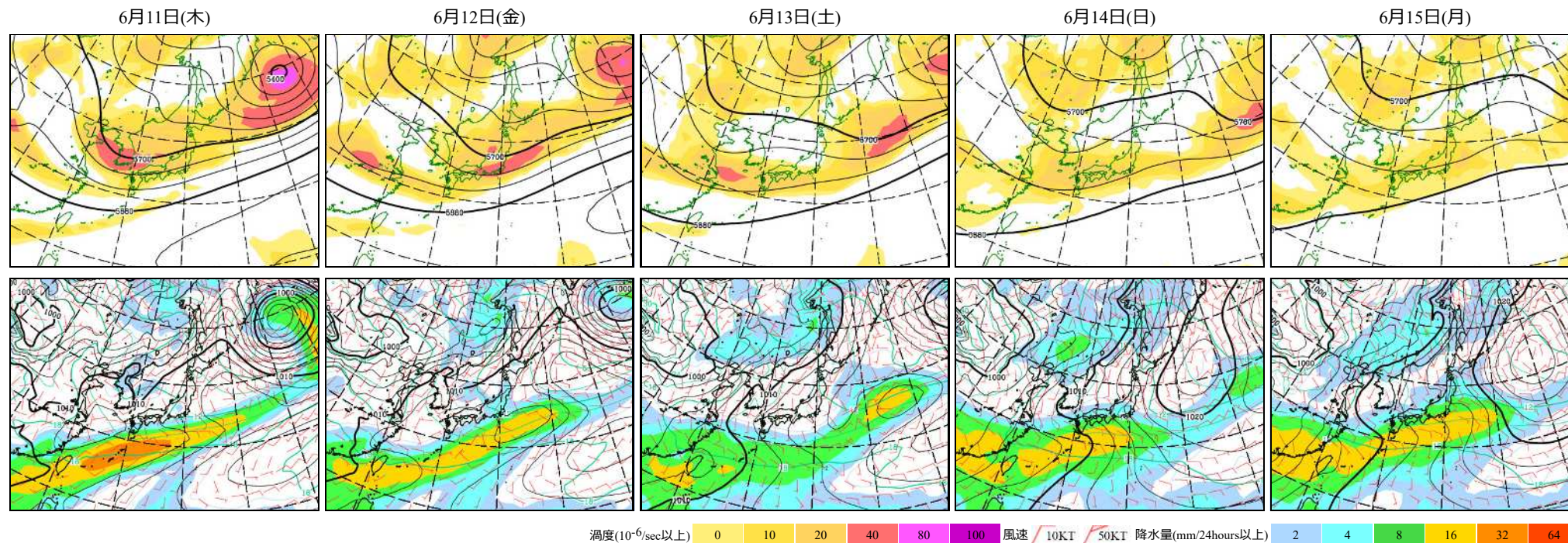
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

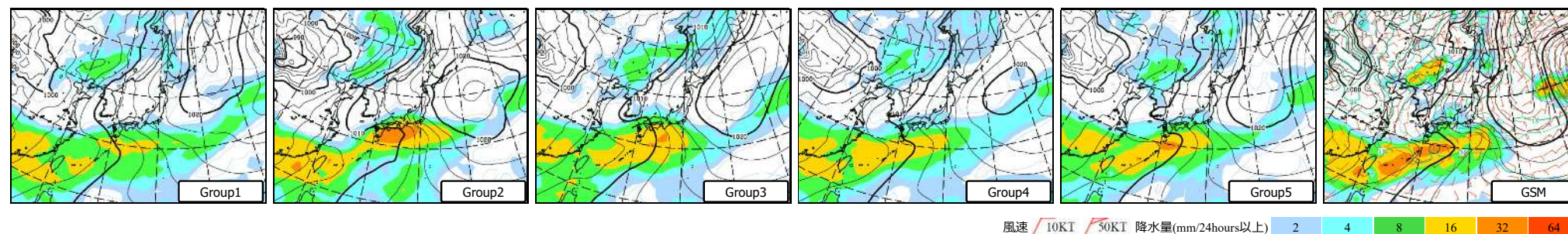


- 北日本は、11日は晴れる所が多い。12日から15日にかけては雲が広がりやすく、12日は雨の降る所がある。
- 東日本は、雲が広がりやすく、12日と14日から15日にかけて雨の降る所がある。
- 西日本は、雲が広がりやすく、14日から15日にかけて雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆6月14日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、11日から12日にかけて日本付近を通過するトラフがやや深くなり、13日から14日にかけて日本海を通過するリッジが明瞭になった。地上の気圧配置は、13日から15日にかけて日本のはるか東に停滞する高気圧が強くなった。
- 11日から12日は、日本モデルが初期値変わりしてモデル間の差が小さくなった。14日に朝鮮半島付近に進むトラフについては、各モデルともに初期値変わりがある。14日から15日に日本の南を進む低気圧のモデル間の差は小さくなった。
- 14日は、各モデルともに日本の南を低気圧が進む予想をする。ENSも同様のメンバーが多いが、低気圧が本州南岸付近を進むメンバーも含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。